

第3・4学年国語科学学習指導案

日 時 平成21年10月2日(金)5校時
児 童 3年生 男子2名 女子2名
4年生 男子4名 女子4名
計12名
指導者 八重樫 誉子

1 単元名 大事なことをたしかめよう

教材名 「すがたをかえる大豆」
「食べ物がかせになろう」(光村3年下)

2 単元について

(1) 児童について

児童は、3年上「ありの行列」で、段落ごとにキーワードや中心文に着目し、書かれていることを読み取り、要点をまとめる学習を行った。また、各自が選んだ昆虫のふしぎを解決するために図鑑や科学読み物を並行読書し、引用して説明文にまとめる学習も合わせて行った。

意欲の差はあるが、全員が必要な情報を集め、段落に分けて書くことができた。しかし、並べ方に迷ったり、つなぐ言葉があればより分かりやすい説明文になるだろうという段階である。

そこで、本単元では、中心となる語や文、段落相互の関係に注意して文章を読み、身近な食品について調べ、段落のつながりを考えて書きまとめる力を付けさせたい。

(2) 単元及び教材について

第3・4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じて、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。本単元では「読むこと」の指導事項イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」と指導事項エ「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」を主目標とする。

本単元「大事なことをたしかめよう」は、主教材「すがたをかえる大豆」で、中心となる語や文に着目して内容を正しく読み取ること、段落相互の関係に注意して読むことを学習し、続く「食べ物がかせになろう」では、本で調べる方法を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすく書きまとめて友達と交流することをねらいとする複合単元となっている。

主教材「すがたをかえる大豆」は、身近な食べ物である大豆とその加工食品について書かれている。身近な食材がすがたを変えていることを知ることは楽しみであり、他の食品へと興味を広げてくれる。また、接続語やキーワードが明確に書かれているので、おいしく食べるための工夫を正しく読み取るための手立てとして、接続語やキーワードを探す方法を身に付けるのに適した教材である。これらのことから、要点をまとめたり、段落相互の関係を考えたりする活動を通して、構成を考えて説明的文章を読む力を育てるのに適した教材である。

(3) 指導について

本単元では、主に以下の点についての指導を通し、確かに読む力を育成したいと考えている。

児童が学習の目的を明確にもてるように、第一次で

1 単元名 材料の選び方を考えよう

教材名 「アップとルーズで伝える」
「四年三組から発信します」(光村4年下)

2 単元について

(1) 児童について

児童は、4年上「かむことの力」で、形式段落ごとに要点をまとめ、段落相互の関係を考える学習を行った。「このように」「つまり」などの指示語や接続語を手がかりに中心となる語や文をとらえ、内容を整理して文章の内容をとらえる力が付いてきているが、中には具体例にのみ注目してしまう児童や正確に読み取ることが苦手な児童もいる。

本単元では、写真と文章を照らし合わせ、要点を正しく整理する力を付けさせたい。さらに、アップとルーズの要旨である目的に応じた取材を理解し、第三次の情報発信の基準としたい。また「例示とまとめ」を繰り返すという意味段落の構成について考えさせ、形式段落の内容だけでなく意味段落の構成について理解させたい。

(2) 単元及び教材について

第3・4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じて、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。本単元では「読むこと」の指導事項イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」と指導事項エ「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」を主目標とする。

本単元は、まず主教材「アップとルーズで伝える」の読み取りを通じて段落相互の関係など説明的文章の書かれ方を学習し、「四年三組から発信します」で情報発信をするために書くという複合単元である。

主教材「アップとルーズで伝える」は、身近なメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたものであり、児童にとって身近な内容である。サッカーのテレビ中継画面を例にアップとルーズについて写真と対照できるようにしながら、対比的に説明している。「このように」という指示語を使ってまとめている明解な構造になっており、段落と段落の関係を考えるのに適した教材である。

(3) 指導について

本単元では、主に以下の点についての指導を通し、確かに読む力を育成したいと考えている。

児童が学習の目的を明確にもてるように、第一次では、身近な物事について下学年に知らせるという目的意識をもたせたい。また、前学年や他校の同年齢の児童の作品を見て、単元の見直しをもたせるとともに意欲付けを図りたい。

第二次では、アップとルーズの色分けで対比の関係と段落相互の関係を、サイドラインの色分けにより接

は自らの食生活を振り返ったり、加工食品について考えさせて関心をもたせ、「すがたをかえる食べ物辞典」を書いて上学年に知らせる目的意識をもたせたい。また、前学年の作品にも目を通して、意欲付けを図りたい。

第二次では、接続語や「くふう」などのキーワードに着目して中心文を選び、要点をとらえさせたい。また、おいしくする工夫を図に表して比較することで筆者の段落の並べ方の意図を考えさせたい。読み取ったことをペアや教科リーダーの進行で確かめるなど、学び合う力を養いたい。

第三次では、選んだ食品について本で調べ、第二次の学習を生かして、分かりやすい段落構成を考えさせたい。

共通導入やまとめでは、上学年からのアドバイスを受けながら学習を進めることができるよう時間配分を工夫をしたい。

3 単元の見目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

○食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味をもって読もうとする。

(2) 読む能力

○中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考えて事実と意見を区別し、大豆を食べる工夫を読み取ることができる。(読むことイ)

○身近な食品について調べ、辞典にまとめるために、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を引用したり、要約したりできる。(読むことエ)

(3) 書く能力

○身近な食べ物について、情報収集したり、取捨選択したりしながら、段落に分けて理由や事例を挙げて段落相互のつながりに注意して文章にまとめることができる。(書くア・イ・ウ)

(4) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。

[言語事項(1)イ(ク)]

接続語の役割を理解してアップとルーズの違いを表に整理させる。さらに「アップとルーズで伝える」から情報発信のための取材の在り方、目的に応じたアップとルーズの利用を理解させたい。その際、写真にキャプションを付ける言語活動を組み入れ、伝えたいことを明確にし、中心をとらえる力を伸ばしたい。

第三次では、下学年に自分たちの学校・地域・町について調べたことを教えるために情報を集め、材料を選び分かりやすく書きまとめられるように、第二次の学習を生かして取材し、選材させたい。また児童相互に助言し合って学び合う活動にしたい。

複式学級上学年として、3年生にアドバイスをしたり、要点のまとめ方や段落構成の違いを比べたりしながら学習を進められるよう時間配分を工夫したい。

3 単元の見目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

○伝える目的や相手に応じて、情報の材料や選び方や表現方法が異なることに気づき、自分の表現に役立てようとしている。

(2) 読む能力

○中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考えて事実と意見との関係考へ、アップとルーズの特徴を読み取ることができる。(読むことイ)

○選んだ物事について調べ、まとめるために、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を引用したり、要約したりできる。(読むことエ)

(3) 書く能力

○身近な話題について、情報の収集や取捨選択をしながら、段落に分けたり、理由や事例を挙げたり、相手に応じた書き方を工夫して、新聞にまとめることができる。(書くイ)

(4) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。

[言語事項(1)イ(ク)]

4 指導計画及び評価規準

(全17時間 読む7時間 書く10時間)

次	時	主な学習活動	具体的評価規準
第一次	1	学習計画を立てよう。 【課題】 どんなことを学習するのだろう。 (1)食事について振り返る。 (2)食品クイズに答える。 (3)「すがたをかえる大豆」を読み、初発の感想を書き、交流する。 (4)「食べ物はかせになろう」を読み、「すがたをかえる食べ物辞典を作ろう」の課題を設定する。 (5)前学年の作品を紹介し、意欲を高める。	【関】 興味をもって説明的文章を読み、初めて知ったことを進んで発表している。(観察・発言・ノート)
	2	【課題】 学習計画を立てよう。 (1)音読練習をする。 (2)新出漢字の練習をする。 (3)難語句と手を加える言葉を探し、意味を調べる。 (3)学習計画を立てる。	【関】 これからの学習の見通しをもとうとしている。 【言】 難語句が分かっている。(観察・発言・ノート)

4 指導計画及び評価規準

(全17時間 読む7時間 書く10時間)

次	時	主な学習活動	具体的評価規準
第一次	1	学習計画を立てよう。 【課題】 どんなことを学習するのだろう。 (1)アップとルーズの写真を見て、読み取れること、感じ取れることを書き出し、違いをつかむ。 (2)「四年三組から発信します」を読み、単元全体の見通しをもつ。 (3)前学年の作品を紹介し意欲をもたせる。 (4)「アップとルーズで伝える」を読み、初発の感想を書く。	【関】 興味をもって説明的文章を読み、感想を進んで発表している。(観察・発言・ノート)
	2	【課題】 学習計画を立てよう。 (1)感想を交流し、学習計画を立てる。 (2)新出漢字の練習をする。 (3)語句調べ・言葉集めをする。 (4)音読練習	【関】 これからの学習の見通しをもとうとしている。 【言】 難語句が分かっている。(観察・発言・ノート)

第二次	3	大豆は、どんな食品にすがたをかえるのか読み取ろう。	【課題】大豆とは何だろう。 (1)食品の写真と名前を照らし合わせ、何段落に書かれているか読み取る。 (2)①②の要点をまとめる。 (3)読み取ったことを図にまとめる。	【読】中心となる語や文に注目し、話題と大豆の説明を読み取っている。(ワークシート)	第二次	3	アップとルーズの特徴を読み取ろう。	【課題】アップとルーズはどんなものか読み取ろう。 (1)①②③段落を読み、問題提示文とアップとルーズの定義を表に整理する。 (2)段落の関係を考える。	【読】アップとルーズの意味と問いを読み取り、段落と段落の関係をとらえている。(発言・ワークシート)
	4	【課題】おいしく食べるための工夫を読み取ろう。 (1)③④⑤の要点をまとめ、おいしく食べるための工夫を読み取る視点をもつ。 (2)手の加え方を図に整理する。	【読】おいしく食べる工夫と食品について読み取っている。(発言・ワークシート)	4		【課題】写真に合うキャプションを考えよう。 (1)新聞やパンフレットのキャプションを読んで理解する。 (2)A, Bについてキャプションを考える。	【読】文章の記述と写真を照らし合わせてキャプションを作っている。(作品)		
	5 本時	【課題】おいしく食べるためのくふうを読み取り、段落のならば方について考えよう。 (1)⑥⑦段落の要点をまとめる。 (2)手の加え方を図に整理する。 (3)③～⑦の並べ方について考え、話し合う。	【読】おいしく食べる工夫と食品について読み取り、筆者の段落の並べ方の意図を考えている。(発言・学習シート)	5 本時		【課題】アップとルーズのちがいを読み取り、段落の関係を考えよう。 (1)④⑤⑥段落を読み、アップとルーズについて表に整理する。 (2)段落の要点をまとめる。 (3)段落の関係を考える。	【読】アップとルーズには伝えられることと伝えられないことがあることを読み取り、段落と段落の関係をとらえている。(発言・ワークシート)		
	6	【課題】多くの食べ方が考えられた理由を読み取ろう。 (1)⑧⑨の要点をまとめる。その理由を考える。	【読】筆者の考えを読み取っている。(発言・ワークシート)	6		【課題】筆者の考えを読み取ろう。 (1)⑦⑧段落の要点をまとめ役割を考える。 (2)⑦なぜ写真を提示したのか考える。 (3)段落の全体のつながりを構成図に表す。	【読】アップとルーズを目的に応じて使い分けられていることを読み取り、段落と段落の関係をとらえている。(発言・ワークシート)		
	7	【課題】大きなまとまりに分けよう。 (1)段落の要点と接続語に着目し、「はじめ・中・終わり」に分け、構成をつかむ。	【読・言】接続語の役割を考え文章の構成を読み取っている。(ワークシート)	7		【課題】文章全体を要約しよう。 (1)接続語を手がかりに要点をつないで文章全体を要約する。	【読】筆者の言いたいことを読み取り、まとめている。(ワークシート)		
	第三次	8	食べ物がかせになろう「すがたをかえる食べ物辞典」を書こう。 (1)調べたい食べ物を選ぶ。イメージマップを作り、課題を立て、計画を立てる。	【関】調べたい食品について進んで本を調べ、見直しをもっている。(観察・計画表)		第三次	8	4年生から発信します「かべ新聞」を書いて、低学年に伝えよう。 (1)教科書の作例・かべ新聞などから良さを見付け、自分たちの形式・内容を話し合う。取材計画(日時・対象・内容)を立てる。	【関】作例の良さを見付け出し、これからの学習の見直しをもっている。(発言・計画表)
		9	(2)「本で調べる」をもとに、本での調べ方を知る。	【書】情報を収集し、カードに書いている。			9	(2・3・4)取材し(図書資料・インターネット・インタビュー・写真)メモを書く。	
10		(3・4・5)複数の本から情報カードを書く。	【書】情報の並べ方を考え、段落にまとめて書いている。	10	(5)調べたメモの中から載せるものを選び、お互いに確かめ合う。割付を決める。		【書】効果的なキャプションを付け、目的に合う内容を選んでいく。		
11		(6)カードを並び替え、お互いに確かめ合う。下書き用紙に書き、推敲する。	【言】「はじめ・中・終わり」の構成と接続語を適切に用い、つながりを意識して書いている。	11	(6)記事を下書き用紙に書き、推敲する。		【書】相手や目的に合う見出しや割付を工夫している。		
12		(7・8)清書し、必要に応じて絵や写真を入れる。	【関】段落や説明の順序の工夫に着目して感想を伝えている。	12	(7)互いに読み合って記事の構成を考える。		【関】相手や目的に合う新聞になっているか感想を伝えている。		
13		(9)製本し、本にする。		13	(8・9)清書する。				
14		(10)作品を読み合い、互いに評価し合う。		14	(10)交流して感想を伝え合い、単元を振り返る。				

5 本時の学習（本時5 / 17）

(1) 本時の目標

おいしく食べるための工夫について要点を読み取り、中の段落の並べ方について考えることができる。

(2) 指導にあたって

確かな読みの力を付けるために、本時では次の言語活動を取り入れる。

《言語活動①》おいしくするための手の加え方とすがたを図に整理する。

《言語活動②》筆者の段落の並べ方の意図を考える。

(3) 本時の指導

5 本時の学習（本時5 / 17）

(1) 本時の目標

アップとルーズのちがいを読み取り、対比的に説明されている段落と段落の関係をとらえることができる。

(2) 指導にあたって

確かな読みの力を付けるために、本時では次の言語活動を取り入れる。

《言語活動①》アップとルーズの違いを表に整理する。

《言語活動②》写真に合うキャプションを付ける。

(3) 本時の指導

段階	○指導上の留意点	3年生	形態	4年生	○指導上の留意点	段階
	◆評価	学習活動	形態	学習活動	◆評価	
見通す	○前時の学習を想起させ、本時の課題を確認する。 ○今日の主な言語活動を確認し、見通しをもたせる。	1 本時の学習課題を確認する。 おいしく食べるためのくふうを読み取り、段落の並び方について考えよう。	直接4分	1 本時の学習課題を確認する。 アップとルーズのちがいを読み取り、段落の関係を考えよう。	○前時の学習を想起させ、①②について③でまとめる構成だったことを確かめる。 ○本時の学習課題を確認し見通しをもたせる。	見通す
ふかめる	○進行表をもとに学習リーダーに進めさせる。 ○キーワードを探しながら読むという視点を与える。 ○解決のために図に表すという目的をもたせる。 ○前時の掲示を手がかりにさせる。 ○接続語「また」「さらに」「これらのほかに」やキーワード「くふう」を手がかりに読み取らせる。 ○ペアで確認し、ずれた部分をリーダーの進行で検討する。 ○まとめた要点を板書しておく。	2 おいしく食べるための工夫を読み取る。 (1) 学習場面を音読する。 ⑥⑦ 《言語活動①》 (2) おいしくするための手の加え方とすがたを図に整理する。 (3) 要点をまとめる。 ⑥目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう。 ⑦取り入れる時期や育て方のくふう。	間接18分	2 アップとルーズの違いを読み取る。 (1) 学習場面を音読する。 ④⑤⑥ (2) 書かれている内容がアップかルーズか確かめる。 ・④写真(C)アップ ・⑤写真(D)ルーズ ・⑥アップとルーズ 《言語活動①》 (3) アップとルーズの違いを表に整理する。 (4) 要点をまとめ段落の関係を考える。 ④アップでとると、細かい部分の様子がよく分かるが、うつされていない多くの部分は分からない。 ⑤ルーズでとると、広いはんいの様子がよく分かるが、細かい部分の様子は分からない。 ⑥アップとルーズには伝えられることと伝えられないことがあるので、テレビでは、目的に応じて切りかえながら放送している。 (5) 段落の関係をつかむ。 ・④⑤を⑥段落でまとめている。 ・図に描く。	○アップかルーズを確かめながら読むようにさせる。 ○サイドラインの色を変え、接続語によって反対のことが書かれていることを理解させる。 ○表をもとに④⑤⑥の要点をそれぞれ一文で書く。 ○ルーズの分からないことは、アップを参考にして具体例からまとめる言葉に書きかえさせる。 ○⑥の「このように」がまとめる役割を果たすこと、④⑤を指すことをとらえさせる。	ふかめる
<p>◆ 具体の評価規準</p> <p>A 各段落の要点を一文で意味が通じるように簡潔に書きまとめ、段落の関係をとらえ、図式化している。</p> <p>B 各段落の要点を長所と短所を落とさずに書きまとめ、段落の関係をとらえている。</p> <p>C 要点ヒントカードを与えて、表のどこを見ればいいのか確認し、まとめさせる。</p>						

	<p>《言語活動②》</p> <p>3 筆者の段落の並び方の意図を考える。</p> <p>○「いちばん分かりやすいのは」「次に」「また」「さらに」「これらの他に」の役割も手がかりにする。 ○手の加え方の図を手がかりに考えさせる。 ○自分の意見を書いて意見をもって話し合うようにさせる。</p> <p>◆具体的評価規準 A おいしくするための工夫と食品を正しく読み取り、筆者の段落の並び方の意図に気付き、説明している。 B おいしくするための工夫と食品を正しく読み取り並び方の意図を理解している。 C キーワード「くふう」を探し、まとめればよいことを想起させる。手の加え方を比べさせる。</p>	<p>直接 18分</p> <p>間接 18分</p>	<p>《言語活動②》</p> <p>3 写真に合うキャプションを付ける。</p> <p>(1)一文交代で音読し、写真と文章に書かれている内容を確認合う。 (2)キャプションを考えて書く。 (3)交流し、良いものを選ぶ。 例 C ゴールを決め、体全体で喜びを表す選手。 D 勝利を喜び合う観客と選手たち。</p>	<p>○写真と内容を照らし合わせながら交代で音読させる。 ○作り方の掲示を手がかりにさせる。 ○出来上がったら交流して、より良いものにする。 ○はやく終わった時は、他の写真にキャプションを付けさせる。</p>
まとめる	<p>○4年生に向けて発表させる。</p> <p>4 学習のまとめをする。 (1)学習を振り返り、分かったことと出された意見を発表する。 (2)今日の学習の感想を発表する。</p>	<p>直接 4分</p> <p>直接 4分</p>	<p>4 学習のまとめをする。 (1)学習を振り返り、分かったことと出された意見を発表する。 (2)今日の学習の感想を発表する。</p>	<p>○3年生に向けて発表させる。</p>
つなげる	<p>○次時の活動への意欲をもたせる。</p> <p>5 次時の学習内容を知る。 ・なぜこれほどたくさんくふうが生まれてきたのかを読み取ること。</p>	<p>直接 1分</p> <p>直接 1分</p>	<p>5 次時の学習内容を知る。 ・⑦⑧段落の要点をまとめ筆者の考えについて読み取ること。</p>	<p>○次時の活動への意欲をもたせる。</p>